

並河靖之 七宝

明治七宝の誘惑—透明な黒の感性

Namikawa Yasuyuki and Japanese Cloisonné
—The Allure of Meiji Cloisonné: The Aesthetic of Translucent Black



伊丹市立美術館

Itami City Museum of Art

並河靖之 七宝



明治七宝の誘惑—透明な黒の感性

Namikawa Yasuyuki and Japanese Cloisonné
— The Allure of Meiji Cloisonné: The Aesthetic of Translucent Black

2017 9 / 9 sat. — 10 / 22 sun.

主 催：伊丹市立美術館「公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団／伊丹市」、毎日新聞社
共 催：伊丹市教育委員会 後援：NHK神戸放送局、神戸新聞社 協賛：岡村印刷工業
休 館 日：月曜日（ただし9月18日・10月9日は開館、各翌日は振替休館）
開館時間：午前10時から午後6時まで（入館は午後5時半まで）

菊唐草文様青小花瓶 明治中期 並河靖之七宝堂之館



彼が次々と箱を開いて、鮮やかな珠玉のような美術品を目の前に並べたとき、私は紛れもない名匠の前にいるのだということ、自ずと悟ったのである。

（ハイパーアート・ギンテイシンの『世界の美術』日本版の10巻）

関連イベント

ギャラリートーク

9/9(土)14:00

講師 大木香奈

(東京都庭園美術館学芸員)

聴講無料・要当日観覧券・申込不要

ワークショップ

「身につける七宝づくり」

9/18(月 祝) 1回目 10:30~12:30頃

2回目 14:00~16:00頃

講師 近藤健一(七宝作家)

定員 各回10名、計20名(中学生以上)

要事前申込

(お電話072-772-7447にてお申込ください/先着順)

参加料3,500円(当日観覧券含む)

同時開催の展覧会

「七宝の現在

—東日本の作家を中心に—

東日本在住の七宝作家9名による作品を展示。
現代の七宝作品をお楽しみいただけます。

会場 伊丹市立工芸センター

企画展示室(美術館地下展示室隣接)

※入場無料

「俳諧と茶の湯」

茶にまつわる俳諧作品や茶人の発句を
貴重なお道具とあわせて約100点紹介します。

会場・公益財団法人 柿衛文庫

(美術館と同施設内)

※別途要入館料

入館料 Admission

一般 Adults ¥700 ¥600

大高生 College students ¥350 ¥250

中小生 Junior high and Elementary school students ¥150 ¥100

※()内は20名以上の団体割引

※兵庫県内の小中学生はココロカード提示にて無料

※4市1町在住(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の

高齢者割引有(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

伊丹市立美術館

Itami City Museum of Art

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL:072-772-7447

http://www.artmuseum-itami.jp

交通案内

阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分

JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分

阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分

※専用駐車場はありません。

宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。




明治時代、輸出用美術工芸として人気を博した七宝。並河靖之(なみかわ やすゆき、1845-1927)は、その中でも繊細な有線七宝により頂点を極めた七宝家です。没後90年を記念する本展は、初期から晩年までの作品を、堂に会する初めての回顧展です。京都の武家に生まれた靖之は、久邇宮朝彦親王に仕えたのち、明治維新後に七宝業に取り組み始めます。知識や資材が無い中、試行錯誤して技術、意匠の改良を進め、やがて内外の博覧会で成功を取ります。工房には外国からの文化人が多数訪れ、京都並河ブランドは新聞や雑誌を通して海外へと紹介されました。明治29年(1896)には帝室技芸員となり、当代、流の工芸家としての地位を確立します。大正期に入ると七宝業全体の生産額が落ち込み、並河も工房を閉鎖、その名は次第に忘れ去られて行きました。しかし近年、明治工芸への関心の高まりに伴い再び注目が集まっています。細密な植線、豊かな色彩、四季折々の花鳥風月、そして研ぎ澄まされた透明な黒い釉薬。類まれな技術のみに留まらず洗練された感性に基づき制作された七宝は、100年以上の時を経てなお光を放ち、人々を魅了します。本展では、国内の七宝作品に加え、下絵等の関連資料を通して、その全容を明らかにします。

Namikawa Yasuyuki and Japanese Cloisonné
The Allure of Meiji Cloisonné: The Aesthetic of Translucent Black



右から時計回りに、御紋章藤文大花瓶、並河靖之七宝記念館/花鳥図飾盤、清水三年坂美術館/鳳凰文食籠、並河靖之七宝記念館/花鳥図染、京都国立近代美術館/桜牡丹菊文小花瓶、並河靖之七宝記念館/下園四季花鳥園蓋付盤、並河靖之七宝記念館/菊紋付蝶松唐草模様花瓶一対、総本山泉涌寺/桜蝶園平皿、京都国立近代美術館



Namikawa Yasuyuki
and Japanese Cloisonné

The Allure of
Meiji Cloisonné:
The Aesthetic of
Translucent Black

七並
宝河
靖之

明治七宝の誘惑
— 透明な黒の感性

2017年9月9日(土) - 10月22日(日)

紅葉花園美術館 明治後期 清水三年坂美術館

並河靖之 七宝 明治七宝の誘惑

— 透明な黒の感性

会場:伊丹市立美術館
 会期:2017年9月9日(土)~10月22日(日)
 主催:伊丹市立美術館[公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/伊丹市]、毎日新聞社
 共催:伊丹市教育委員会
 後援:NHK神戸放送局、神戸新聞社
 協賛:岡村印刷工業

第1会場(2階展示室)

展示順	図録No.	タイトル	ふりがな	作家	制作年	Date	サイズ(mm)	所蔵先	素材・技法
1	26	菊唐草文細首小花瓶	きくからくさもんほそくびしょうかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径6.5 高13.5	並河靖之七宝記念館	有線七宝
2	1	鳳凰文食籠	ほうおうもんじきろう	並河靖之	明治6年(1873)	1873	径12.6 高6.7	並河靖之七宝記念館	有線七宝
3	3	磁胎桜螺七宝繁文合子	じたいさくらしょうしっぽうつなぎもんごうす	並河靖之	明治前期	c.1870-80	径11.5 高7.5	並河靖之七宝記念館	有線七宝
4	7	瑞鳥花卉唐草割付文小花瓶	ずいちょうかきからくさわりつきもんしょうかびん	並河靖之	明治前期	c.1870-80	径6.5 高11.0	並河靖之七宝記念館	有線七宝
5	15	若松鶴文合子	わかまつつもんごうす	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	幅8.0 奥行6.0 高3.7	並河靖之七宝記念館	有線七宝
6	31	龍文香合	りゅうもんこうごう	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径6.2 高3.0	清水三年坂美術館	有線七宝
7	9	龍文飾壺	りゅうもんかざりつぼ	並河靖之	明治前期-中期	c.1870-90	高11.3	清水三年坂美術館	有線七宝
8	13	龍文瓢形花瓶	りゅうもんひょうけいかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径8.4 高23.0	京都国立近代美術館	有線七宝
9	14	龍文瓢形花瓶	りゅうもんひょうけいかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径8.4 高23.0	ギャルリー・グリシーヌ	有線七宝
10	102	下図「蓋付壺二種 龍文小判形香炉・花蝶図小壺」	ふたつきつぼにしゅうりゅうもんこばんがたこうろ かちょうすこつぼ	並河工場画部	明治22年(1889)	1889	縦27.0 横38.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨
11	103	下図「菊御紋入龍図壺台座付」	きくもんいりりゅうごうすつぼだいざつき	並河工場	明治時代	c.1870-1910	縦66.0 横38.8	並河靖之七宝記念館	紙、墨
12	101	下図「鳳凰文花瓶台座付」	ほうおうもんかびんだいざつき	並河工場 銘:大日本京都並河造	明治時代	c.1870-1910	縦60.7 横26.7	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
13	114	下図「御紋付鳳凰図壺台座付」	おんもんつきほうおうすつぼだいざつき	並河工場	明治時代	c.1870-1910	縦44.0 横39.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
14	122	下図「御紋付 鳳凰文壺 第三号 七宝焼花生割文様」	ごもんつき ほうおうはなもんつぼ だいさんごう しっぽうやきはなけわりもんよう	並河工場	明治時代	c.1870-1910	縦46.5 横26.5	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
15	105	下図「舞楽図壺台座付」	ぶがくすつぼだいざつき	並河工場 銘:大日本京都並河造	明治時代	c.1870-1910	縦48.3 横44.5	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
16	118	下図「ボーダー文様」		並河工場画ノ部	明治時代	c.1870-1910	縦13.5 横27.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
17	115	下図「獅子唐草文」	ししからくさもん	並河工場画ノ部	明治時代	c.1870-1910	縦10.5 横37.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
18	108	下図「香水瓶二種 花鳥文」	こうすいびんにしゅう かちょうもん	並河工場 銘:大日本京都並河造	明治29年(1896)	1896	縦19.5 横26.7	並河靖之七宝記念館	紙、墨
19	121	下図「メダル11種」		並河工場画ノ部	明治時代	c.1870-1910	縦15.7 横25.7	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
20	88	群蝶文蓋付小壺	ぐんちょうもんふたつきこつぼ	桑野純太郎	明治時代	c.1870-1910	径4.6 高10.0	清水三年坂美術館	有線七宝
21	89	百花香七宝大皿	ひゃっかかもんしっぽうおおざら	林小伝治	明治時代	c.1870-1910	径92.0	名古屋市博物館	有線七宝
22	90	百花香七宝大皿下絵 ※	ひゃっかかもんしっぽうおおざらしたえ	林小伝治	明治時代	c.1870-1910	径90.6	名古屋市博物館	紙、墨、水彩
23	95	下図「桜蝶文皿」	さくらちょうもんざら	並河工場 銘:大日本京都並河造	明治時代	c.1870-1910	縦26.4 横37.8	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
24	96	下図「桜蝶文皿」	さくらちょうもんざら	並河工場 銘:大日本京都並河造	明治時代	c.1870-1910	縦27.0 横39.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
25	33	桜蝶図平皿	さくらちょうすひらざら	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径24.6	京都国立近代美術館	有線七宝
26	94	下図「桜蝶文皿」	さくらちょうもんざら	並河工場 銘:大日本京都並河造	明治時代	c.1870-1910	縦26.2 横38.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
27	4	蝶に花唐草文花瓶	ちょうにはなからくさもんかびん	並河靖之	明治前期-中期	c.1870-90	高13.5	清水三年坂美術館	有線七宝
28	16	蝶に草花図飾壺	ちょうにそうかざりつぼ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高8.8	清水三年坂美術館	有線七宝
29	17	蝶に草花図香合	ちょうにそうかざりつぼ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径6.0	清水三年坂美術館	有線七宝
30	20	蝶に花唐草文香水瓶(三種)	ちょうにはなからくさもんこうすいびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高7.0	清水三年坂美術館	有線七宝
31	129	下図「蝶に花唐草文香水瓶」	ちょうにはなからくさもんこうすいびん	中原哲泉	明治時代	c.1870-1910	縦19.5 横26.5	中原蘭二	紙、墨
32	18	蝶に花丸唐草文花瓶	ちょうにはなまるからくさもんかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高16.0	京都国立近代美術館	有線七宝
33	19	蝶に花丸唐草文飾壺	ちょうにはなまるからくさもんかざりつぼ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高12.0	清水三年坂美術館	有線七宝
34	23	花丸唐草文飾壺	はなまるからくさもんかざりつぼ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高13.0	清水三年坂美術館	有線七宝
35	24	菊唐草文煙草入	きくからくさもんたばこいれ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	幅9.0 奥行7.5 高2.0	並河靖之七宝記念館	有線七宝
36	25	菊唐草文細首小花瓶	きくからくさもんほそくびしょうかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径6.0 高13.3	並河靖之七宝記念館	有線七宝
37	97	下図「菊唐草文細首壺台座付」	きくからくさもんほそくびつぼだいざつき	並河工場 銘:大日本鬼園窯製造所 並河靖之	明治時代	c.1870-1910	縦27.0 横19.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨
38	27	菊唐草文花瓶(二種)	きくからくさもんかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高16.0	清水三年坂美術館	有線七宝
39	28	菊花文飾壺(二種)	きっかもんかざりつぼ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高9.0	清水三年坂美術館	有線七宝
40	125	下図「菊花文飾壺」	きっかもんかざりつぼ	中原哲泉	明治時代	c.1870-1910	縦27.2 横13.0	中原蘭二	紙、墨、水彩
41	30	蝶に花丸唐草文飾壺	ちょうにはなまるからくさもんかざりつぼ	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高11.7	京都国立近代美術館	有線七宝
42	35	花蝶文花瓶(一対)	はなちょうもんかびん	並河靖之	明治25年(1892)	1892	径10.0 高18.6	東京国立博物館	有線七宝
43	128	下図「蝶図瓢形花瓶」	ちょうすひょうけいかびん	中原哲泉	明治時代	c.1870-1910	縦27.5 横19.0	中原蘭二	紙、墨
44	34	蝶図瓢形花瓶	ちょうすひょうけいかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	高18.0	清水三年坂美術館	有線七宝
45	29	菊唐草文花瓶(一対)	きくからくさもんかびん	並河靖之	明治25年(1892)	1892	口径5.0 底径4.8 高18.5	東京国立博物館	有線七宝
46	110	下図「菊唐草文壺」	きくからくさもんつぼ	並河工場	明治25年(1892)頃	c.1892	縦27.4 横19.5	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
47	36	蝶図香合	ちょうごうごう	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径6.0	清水三年坂美術館	有線七宝
48	37	蝶に花図香水瓶	ちょうにはなごうすいびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	幅3.2 奥行2.1 高8.3	清水三年坂美術館	有線七宝
49	117	下図「伊太利国公使館御注文下画 ポット、シュガーポット、ジャグ花蝶文」	いたりこくこうしかんごちゅうもんしたず かちょうもん	並河工場	明治時代	c.1870-1910	縦27.0 横37.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨
50	119	下図「花蝶文」	かちょうもん	並河工場画部	明治時代	c.1870-1910	縦18.8 横27.0	並河靖之七宝記念館	紙、墨
51	32	菊紋付蝶松唐草模様花瓶(一対)	きくもんつきちょうまつからくさようかびん	並河靖之	明治中期	c.1880-1900	径15.5 高26.5	総本山泉涌寺	有線七宝
52	113	下図「蝶花文壺台座付」	ちょうかもんつぼだいざつき	並河工場 銘:並河靖之	明治時代	c.1870-1910	縦41.5 横30.5	並河靖之七宝記念館	紙、墨、水彩
53	137	京都並河工房		ハーバート・ジョージ・ボンティング 出版:アンダーウッド&アンダーウッド	明治37年(1904)	1904	縦17.8 横8.8	並河靖之七宝記念館	
54	140	釉薬見本		並河工場	大正10年(1921)9月16日	16 September, 1921	縦26.0 横18.0	並河靖之七宝記念館	
55	138	制作工程見本			明治時代	c.1870-1910	高9.3	清水三年坂美術館	
56	139	芳名帳			明治時代	c.1870-1910	縦27.5 横20.0 厚さ2.0	並河靖之七宝記念館	
57	136	貼り交ぜ屏風			明治時代	c.1870-1910	縦170 横340	並河靖之七宝記念館	

※展示期間:9月9日~24日

